

6年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の学習に意欲的に取り組み、定着率が上がってきている。 ・説明文の要旨を捉えて、自分なりの考えをもって書き表す力がついてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎既習の漢字を文章内に、適宜しようとする力がまだ弱い。 ・語彙力が身に付いていないため、文章に書き表す際に適当な言葉が使えず、思ったことが伝わらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の作文や日記等に漢字を適宜使用するように、例示するなどして指導する。 ・意味を調べたり、使い方を練習したりする時間を確保する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、できるまで熱心に取り組む児童が増えた。 ・課題に対する解決法を複数考えたり、友達の考え方を使って課題を解決しようとしたりする児童が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎百分率を使った計算の理解に課題がある。 ・学習の定着度合いの個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・百分率の知識や技能の習得のために、買い物などで利用できる身近な生活の様子を想起できるような問題演習を行う。 ・補習を活用し、既習事項の定着を図る。 ・タブレットドリルやミライシードを活用して復習に取り組みさせる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・写真・映像などの資料から政治的、歴史的な意味を予想するなど、高い関心を示している。 ・学習したことをもとに、自分の考えを入れて表現する力がついてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎日本の地理的環境、工業、産業の特徴についての理解が弱い。 ・歴史的背景と業績のあった人物が結び付いていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県や各地域の特徴が捉えられるように、地図や映像、写真などの資料を取り入れて特徴が結び付くよう指導する。 ・事象や人物の暗記ではなく、歴史的事象の理由を明らかにして時代背景をふまえた学習を行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・理科への興味・関心が強く、特に、実験・観察に対して意欲的な取り組みが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学習感想・考察などの記述に対する苦手意識が多い児童や知識が定着していない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察の時間の後に考察の時間をとるとともに、次時の時間に振り返りを行ったり、プリントで復習したりする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・音色やリズムに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏することができる。 ・楽曲を聴いて、曲想の変化を音楽の要素を手がかりに聴き取ったり、曲の特徴を言語で表したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎表現することに、恥ずかしさや抵抗を感じている児童もいる。 ・特に歌唱の場面では、作曲者の表現したい思いを歌詞や楽曲から読み取り、それを生かした表現を工夫しながら歌う力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変声期の児童に配慮しながら、児童一人一人のよさを見つけて伝えたり、積極的に声掛けをしたりして、表現することに自信をもてるようにする。

図工	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく制作活動や造形遊びに取り組める児童が多い。 ・見通しをもって計画的に制作を進められるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分が表したいものに合わせ、材料や表現の仕方を主体的に考えられる力を付けること。 ・制作途中で集中が切れてしまう児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を確認しながら、どのような表し方ができるのかを思い出し考えられる機会を設けたり、画材や材料を多数用意したりする。 ・制作が進まない児童には個別に声掛けをし、意欲を途切れさせないようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に積極的に取り組むことができ、作品作りには、特に意欲的に取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ミシンの使い方や、裁縫の手順など基礎的な知識・技能が身に付いていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンの使い方を練習する時間を設ける。 ・友達に任せるのではなく、教えてもらって自分で作成するよう指導する。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会での表現運動など、明確な目標がある取り組みに対して、頑張ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎運動技能に個人差があり、習得に時間を要する児童もいる。 ・運動に対する意欲が低く、自分の課題に取り組むことができていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の運動能力の伸びが実感できるような学習活動を行う。 ・お互いに見合い、アドバイスをし合う時間を設定する。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学習内容の理解ができている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎主体的に取り組む児童の差が大きい。 ・少し長い会話のやり取りが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導員（ALT）との日常会話のやり取りする時間を多く設定する。 ・その日に習得した語彙や文章の復習をする時間を設ける。